

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月17日(土) 13:30~15:10
場 所	上平公民館 集会室兼体育室
参加人数	4名
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	<p>説明の中で、住民の意見を聞き、丁寧に進めていくとのことでしたので、ぜひそのような形でお願いしたいと思う。</p> <p>この基本計画などを見て、この計画自体が乱暴な統廃合案であり、計画の中に出ている教育環境の充実と正反対のことが行われようとしているため、反対である。撤回をしてほしい考えである。人口が減少するため、教育施設などのダウンサイズをするという考えと、経費の問題などがあり、自分がすぐに理解できなかった部分もあった。すぐには受け入れられない考えであるかもしれない。</p> <p>例えば、人口減少の原因がいろいろあると思うが、その原因の一つは、子育てや教育にお金がかかりすぎることがあると思う。</p> <p>上尾市など基礎的な自治体で考えてもらいたいのが、人口が減るから、施設もどんどん減らすのではなく、魅力あるまちづくりをしてほしい。</p> <p>子育て世代や若い人、もしくはここで生まれ育った人が続けたいと思うまちづくりを考えて、人口減少を抑えるような政策をとってもらいたいというのが、住民としての強い願いである。</p> <p>将来人口から各学校の児童生徒数を推計した一覧があり、これに対して、今年、ほとんどの小学校では35人以下学級を順次行うという法改正が行われた。</p> <p>小学校は35人で学級数の計数をされているかと思うが、中学校に関してはどのようにしているか。</p> <p>中学校に関しては、法改正など行われていないが、国会答弁では中学校も念頭に置いていると答えている。</p> <p>コロナ禍の中ということもあるが、少人数学級が、これからの学校教育の基準になるべきだと思っているため、学級数等を計算する場合も、35人以下、出来れば30人以下学級の想定も含めて教</p>

室数なども考えてもらいたい。

1 点目は、中学校の生徒数を考え、教室を整備する際に、35 人以下学級で考えているかどうかをお聞きしたい。

2 点目は、2034 年までに上平小学校と上平北小学校を統合するということであるが、参考資料によると、2030 年の二つの学校の児童数は約 700 人ぐらいであり、相当過密な状態であると思う。

24 ページに持続可能な教育環境作りということで、学校規模の考えというのが載せられている。適正規模ということで 12 学級から 18 学級としており、私の実感としても、これぐらいの規模の学校は適正だと思う。小学校では 2 クラスから 3 クラス、中学校では 4 クラスから 6 クラスである。

19 学級から 24 学級が準適正規模としているが、この基準はどこから出ているのか。あと、中学校のみ 9 学級から 11 学級を準小規模校と考えている根拠は何かというのをお聞きしたい。

この計画では、12 学級以下のクラス替えができないなどの理由で学校の再編を考えているが、小規模校の解消より、大規模校の解消を優先してほしい。大規模校の弊害の方が大きいと思う。

先ほど言われた教育環境を充実させるとか、ICT 教育などの様々な新しい学習を取り入れていくには小規模校の方がやりやすいし、その効果があると思う。

特に市内で 25 学級以上の大規模校の解消を優先してほしい。

資料 53 ページで学校規模の基準で小学校 18 学級、中学校 15 学級となっており、先ほどの適正規模の上限になっているが、それを下回る規模の学校は、新しい学校づくりの対象になるという理解で良いのか。

学校規模に関しては適切だと思うが、一部の学校にのみあてはめているのが理解できない。

最後に上尾市の財政状況がそんなに悪いのかが腑に落ちないため、その辺を近隣市と比べたりしてほしい。

資料 48 ページの A B C パターンの設定に関して、C の場合は、適正規模を維持しても、水泳授業を民間委託しなければならないという発言があったと思うが、水泳授業を民間委託し、事故が起こった責任は、学校が取るのか。

水泳事故のことを考えると、水泳授業は危険を伴う時間であり、子供の健康状況や運動能力をある程度把握している教師が関わ

<p>教育総務課長</p>	<p>らず、民間にすべてを委託するのは危ない。そういう水泳授業の民間委託をお金だけで決めて良いのか。</p> <p>3点目は上尾市の財政状況を含めて、絶対にこのようにしないとイケないのか、他の手段は考えられないのかを伺いたい。</p> <p>少人数学級に関し、中学校における考え方であるが、小学校においては3月に法改正があり、今年は2年生から35人学級編成が始まり、段階的に進め、最終的に2025年度までには全て学年で35人学級となる予定である。</p> <p>しかし、中学校には改正がない。文部科学大臣が30人学級の話や中学校への導入にも言及をしていたが、国として正式決定したものではないため、この計画上の中では法律の基準である40人学級で考えている。</p> <p>ただし、教室数については、人数に応じた数だけを用意すれば良いとは考えてはいない。予想を上回る生徒数の状況も考えられるため、ある程度余裕を持った形で設計をしている。今回のコロナ禍の状況も検討し、必要な教室数について考えていきたい。</p> <p>2番目に上平北小学校が2034年の再編の際の話について、資料には2030年と2050年の推計しか入っておりませんが、再編時の2034年度の人数について、上平小学校は498人、上平北小学校は197人の合計695人を想定している。</p> <p>10年後について、学校に入学する子供の出生の状況がまだつかめていないため、単純に推計から6学年で割り、それを35人学級で割り振った数字であるが、各学年4学級並行の編成となり、24学級規模となる。規模の大きさでは準適正規模での開校を予定している。</p> <p>また、適正規模を示した根拠について、国の施設の設置上の法令で定められている基準や、教職員や保護者に向けたアンケートの結果を踏まえて、上尾市の中で適正な規模を考えたところである。他市の状況も踏まえて検討している。</p> <p>大規模校の解消であるが、小規模校にも、大規模校にもメリット、デメリットがあるが、適正規模で再編するのが適切であると考えている。</p> <p>大規模校の解消につきましても、各エリアでの学校のあり方を考えていただく中で、学区の変更や調整なども含め、考えていきたい。</p>
---------------	--

<p>教育総務部長</p>	<p>上尾市の財政状況と他市の比較等について、上尾市だけではなく他の市も同様に人口減少の中で、労働者人口も減り、事業を実施するにあたっての市税を含めた財源の確保が大きな課題となっている。</p> <p>そういったところから、公共施設については、更新費用の見直しということで、過去 10 年間の年平均から算出した額を上回る部分について、削減を図る。具体的には公共施設、公共建築物につきましては、40 年間で、経費の 35% を削減させるという公共施設マネジメント方針に基づいて、学校施設更新計画の再編案を示した。再編案につきましては、財政の制約を踏まえた上で検討している。</p> <p>水泳授業の民間委託等で事故があった場合、責任が取れるのかということであるが、プールに限らず、直営や民間委託にかかわらず、事故は起こってはいけない。事故がないように配慮しながらことをすすめるべきであるということを考えている。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>4 点目の資料 53 ページの基準は適正規模の学校も含まれているとの指摘であるが、適正規模校も小規模校も含め、エリア全体で学校の将来のあり方を話し合っていたいただきたいという意味で示したところである。</p>
<p>参加者</p>	<p>私の子供はもう 40 代後半で、上平北小学校を卒業しているが、その頃から、少人数学級について全国的な高まりの中で訴えてきていたため、私はすでに 30 人学級が実現されていると思ったが、まだ 40 人学級が続いていたことに驚いている。</p> <p>最近はコロナ禍のこともあり、少人数学級と言われているが、それを抜きにしても、全世界的に見て、35 人は多すぎると思う。持続可能なのであれば、少なくとも 30 人学級など、先々の 1 学級あたりの児童数を見通して、学校の規模を考えても良いのではないかと思う。</p> <p>3 学級、4 学級並行などと言い、1 つの学校の学級数は妥当であるとしても、基本となる 1 学級あたりの児童生徒数が多ければやっぱり過密だと思う。</p> <p>そういうところも含め、改めて見直した方が良い。国の基準だからではなく、もっと先の見通しとして、少人数学級の学びが動い</p>

	<p>ているので、これを先の見通しにしても良いのではないか。  小規模校ならば、体育館や特別教室を制限なく使用できるが、大規模校では、気温や天候により校庭などが使えない場合に、特別教室や体育館の使用に制限がかかってしまう。  一律にこれが適正だから、予算がないからと考えるのではなく、きめ細やかに検討してほしい</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>少人数学級の考え方であるが、国の方でも様々な動向がある。今回の計画上では、国の確固たる根拠を基に計画をしている。国の動向を見据えつつ、状況が変化すれば、計画を見直ししなければならないと考えている。学級の基準だけでなく、人口問題も含まれている。  現状では人口が減少するような形で推計しているが、上尾市としては人口が減らないような政策を打ち出しているところである。現実には人口推計が変わってくれば、その部分を見直さなければならないので、いろいろな要素の変化に対応しつつ見直しをしていきたいと考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>子供達が教師や地区の皆さんにお世話になった。  どうしてこの基本計画が策定されたのか。  1 学級当たりの人数が 35 人学級になるとしているが、これでも少人数学級とは言えない。その次が見えてこないし、中学校はそのままである。  アジアの諸国では少人数学級が進まないように思うが、ヨーロッパの方では 20 人学級が多い。日本の 40 人学級の半分がスタンダードになっている。日本はこのままで進んでいってよいのか。35 人学級で止まってしまわないかと心配している。  国の言いなりにならず、上尾市の子供達のため、35 人学級をはじめとして、30 人学級を見据え、ヨーロッパのような先進国の事例を調査研究し、前向きな施策を講じてほしい。  地域でこんな話も含めて、しらこぼと団地に関し、知人から住民が増えそうなこと聞いた。  教育委員会は人口減少と言っているが、東京に人があふれており、こちらに流れてきている。そういうことを視野に入れ、埼玉県を多角的に考えると、将来は人口がどんどん増えていく見通しもあるのではないかと。</p>

<p>教育総務部長</p>	<p>そういうことも考えて、学校施設更新計画基本計画は賛成できない。</p> <p>上平地区だけでなく尾山台地区の話も聞いているし、西側の話も耳に入ってくるが、教育委員会が良くやっているという話は聞かない。</p> <p>教育委員会は良い教育環境を整えようとしているかもしれないが、住民はそのように思っていない。住民の意見をよく聞いて、市民の声をどう受け止めているのか伺いたい。</p> <p>基本計画が出てきた経緯について、上尾市は人口急増期に、多くの学校の施設を集中して整備をしてきたが、その施設が老朽化し、築40年以上の施設が70%以上であり、老朽化の対応を検討する時期に来ている。</p> <p>それと同時に児童生徒数がピーク時と比べ、約半数ぐらいになっていることを踏まえ、このタイミングで様々なことを検討協議していくということで、この計画を考え、策定に至った。そのため、国の言われる通りに計画をしたわけではない。</p> <p>市民の声をどう受け止めているかということについてであるが、この計画は、ここを含め4地区で説明会をさせていただき、様々な意見をいただいている。</p> <p>市としても、一方的に市の考えを押し付けるということではなくて、皆さんの意見を聞きながら、進めていきたいと考えている。今後の予定として、全小中学校の保護者にも説明が必要であると考えており、地域の説明会も、1回で終わりにするというつもりはないため、引き続き意見交換させていただきながら進めてまいりたいと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>資料12ページで中一ギャップの解消とあるが、そのためでもあると思うが、小中一貫校が新設される計画になっていると思う。上尾の中で平方地区と原市地区に1校ずつ計画されている。それは一貫校をつくるというのは、中一ギャップの解消に基づく小、中学校の9年間考えて計画されていると思うが、小中一貫校に誰が入学できるのかが疑問である。</p> <p>14ページのお札が飛んでいく図があり、次世代のために身の丈に合わせた施設総量とするマネジメントが必要とあるが、もう少しわかりやすく説明してほしい。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>1 点目の小中一貫教育の関係であるが、財政上のシミュレーションでは小中一貫教育の実施を想定いたしまして、2 校分の大きな敷地がある平方地区と原市地区に小中一貫一体校として再編案を示している。</p> <p>ただし、小中一貫校としての教育を導入するかどうかについては、教育委員会では決定していない。</p> <p>今後、先進都市の視察などを含む調査研究を行い、メリット、デメリットを検討し、令和 4 年度中に教育委員会として、小中一貫教育の方向性を決定したい。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>小中一貫校に入学する児童生徒について、入試などではなく、地域の子供達が学区の中で、その学校に 9 年間を見越した教育課程を持った小中一貫の考え方を導入した学校に入学することである。</p> <p>したがって、その地域の子供が現在と同じように原市地区であれば原市地区の子供が入学するという考え方である。</p> <p>現時点でも上尾市では小中一貫の考え方で、小学校と中学校が連携した教育が必要であるということで進めている。</p> <p>例えば、英語教育では中学校で教えることと小学校で教えることは目的も違いますし、そういう指導の方法を見通して、カリキュラムを組んでやっけていこうとしているところである。</p> <p>小中一貫校の考え方で出たメリット等は、他の中学校区の小学校や中学校でも生かして、同様にやっけていくことができるという考え方である。</p> <p>小中一貫校だから大変特別な内容ということではなく、よりカリキュラムが連携されたものになると考えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 14 ページについて、一番左の図は人口が増加したのに合わせて、必要な施設を整備し、それに伴う施設の整備費がかかることを表している。中央の図は、以前整備した施設に関して、人口が減った状態で、同じ整備をしようとする、人口減による税収減もあり、整備費の負担が大きく大変であることを表している。中央の図のような状況にならないように、施設の量を縮小したり、インフラの必要な部分にのみ費用をかける考え方が必要になっている。右の図は、今まで整備してきた施設を現在の人口にあ</p>

	<p>った施設の量にすることやインフラもすべてを更新するのではなく、延命利用できるものは、長寿命化改修を行い、できるだけ経費を抑えるようにすることを表している。これが次世代のために負担をかけないようにするために必要な公共施設マネジメントの考え方であり、それを3つの図で表している。</p>
参加者	<p>特定の地域のみ小中一貫校を立てるのは施設の問題がある。私は小中一貫校がどんどん上尾市に増えていくことは大きな問題であると思う。</p> <p>小中一貫校の教育システムには賛成できない。</p> <p>小1の子供が幼稚園や保育園から上がってきて、学校の中で過ごしている姿と、中3が校庭で活動している姿を見ると、子供達の年齢や成長、あるいは様々な活動はつなげていけるのか。</p> <p>小学校は小学校教育の意味があり、その上に中学校教育をつないでいくことに意味があると思う。</p> <p>私はなんで特定の地域だけ小中学校を一緒にしたのかという意見が市内から多く出ると思う。</p> <p>先ほど他の地域と変わらない教育をやっていくのだと言っているが、そうだったら、別々に学校を設置すればよいのではないか。何も小中一貫一体校にする必要はないのではないか。</p> <p>小学校は小学校教育の完成を目指し、中学校は中学校教育の完成を目指している。ただ単につなげばよいというものではないと思うが、どのように考えているのか。</p>
学校教育部長	<p>小中一貫校について、小中学校の施設が別の一貫校の形態と、施設一体型の小中一貫校の形態があるが、これから上尾市が小中一貫教育をどのようにしていくのかは、これから検討していくため、まだ決まっていない。</p> <p>小学校は小学校教育で、中学校は中学校教育で行うべきという考えもあることは認識している。</p> <p>現在、先進的に小中一貫校が設置されている都市を視察するなど、その成果と課題を見ていかなければいけないという指摘も理解できる。今後、検討してまいりたい。</p> <p>先進的に小中一貫教育を行っているところでのメリットは、例えば、中学校教員による専門教科の専門性が高い指導と、小学校の教員の指導が融合し、小学校教科の担任制が進んだ、それから学</p>



<p>参加者</p>	<p>力意欲の向上に繋がったという実績や成果も報告されている。その一方で課題もあるので、慎重に検討しながら、皆様のご意見をいただき、考えてまいりたい。</p> <p>山梨県の早川町という全国で一番人口が少ない町があるが、小学校は2つあり、全国に先駆けて教育費の無償化を実施している自治体である。</p> <p>早川北小学校と早川南小学校とそれぞれ全校児童数は十数名という規模ということもあり、教育無償化ができた部分もあるかと思うが、過疎の自治体でも将来を担う子供達を大切にしようということで市の当局が教育費無償化の政策を実施したと考えている。</p> <p>上尾市においても教育委員会の方々に考えていただきたいのは、地元の住民にとってどういう学校が良いのか、教育委員会の方も、自分の子供や孫などを通わせたい学校づくりを進めていただきたい。</p> <p>そういった中でお金の問題も大事であるが、私は小規模校の良さもあると思う。</p> <p>例えばいじめの問題にしても、大規模校よりも小規模校の方がそのような問題が起こりにくいし、子供達と教員の関係が近いいため、解決しやすいと思う。</p> <p>教育施設の充実みたいなことで、本日の資料36ページのグループワークや発表しやすい空間設備とか、個別指導対応の個室コーナー等を大規模校で作ったとしても、児童生徒数が多いと利用しづらいのではないかと。</p> <p>ぜひ小規模校の良さも認めてほしい。</p> <p>今日の説明会が終わり、住民に説明しましたということではなく、今後も地域の人たちの意見を聞いて進めていく、説明会等も再度行っていただけるとのことでしたので、ぜひこれからの未来を担う子供たちのことを優先してほしい。</p> <p>財源が厳しい財政状況の中でも、そのような上尾市の教育行政であってほしい。</p> <p>付け加えて人口問題で考えると、最近、近所に外国籍の方が住まわれている。外国籍の方にとっても暮らしやすい上尾市にしてほしい。外国人の子供達も公立学校で受け入れて、日本国籍の子と同じように教えていける、そういう学校づくりをお願いしたいと</p>
------------	---

教育総務部長	<p>思う。</p> <p>上尾市教育委員会としても、未来を担う子供達のために、様々な教育施策を展開しているところであるが、引き続き、教育に予算を割り振れるように努力していきたい。</p> <p>小規模校の良さがあるという意見をいただき、教育委員会としても、様々な皆様の意見を聞きながら、どういった学校づくりが良いのかについては、一方的に押し付けるのではなくて、意見交換をさせていただきながら進めたいと考えている。</p> <p>外国籍の方にとっても暮らしやすい学校づくりも観点におき、教育委員会だけではなく、学校につきましては、防災の拠点、地域コミュニティの拠点等、様々な人が集って交流をはかる場所でもあるため、教育委員会だけではなく、市全体として、この問題について考えていきたいと考えている。</p> <p>地域説明会についても、本日1回のみとは考えていない。</p> <p>引き続き、皆さんと意見交換をしていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--------	---